

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第8回 千種生活圏の拠点づくり検討委員会	
開 催 日 時	平成30年3月14日（水）18時00分～20時00分	
開 催 場 所	エーガイヤちくさ 千種保健福祉センター 会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	船曳順市	
委 員 氏 名	（出席者） 船曳順市、亀井欣也、藤原 隆、森井俊二、鳥居 薫、 波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己世始、鳥羽敏美、 清水一女、奥田慎一、磯崎伸彦	（欠席者） 杉本千里、 井岡陽子
事 務 局 名	宋栗市 千種市民局：幸福市民局長、清水副局長、村上副課長 千種保健福祉課：田村課長 企画総務部：坂根部長、上長次長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
傍 聴 人 数	2名	
会議の公開・非公開の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開 会 2 あいさつ 3 「エーガイヤちくさ」の施設現地見学 4 報告・協議事項 (1) 前回議事録の確認 (2) 論点整理と検討方針（案） (3) 「千種生活圏の拠点づくりの考え方」策定スケジュールについて 5 そ の 他 6 閉 会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
清水副局長	1 開 会
委員長	2 あいさつ 本日は「エーガイヤちくさ」を見ていただきながらということで、会場を移して開催しております。図面を見ながら宍粟市千種保健福祉課の田村課長に案内していただき、施設を見学後、意見交換をさせていただきたいと考えております。早速ですが施設見学をお願いしたいと思います。
委員	3 「エーガイヤちくさ」の施設現地確認 ➤ 千種保健福祉課 田村課長の案内でエーガイヤちくさを見学 ➤ 「どがいじゃろえ」地域プランの説明
幸福市民局長	将来の千種町の地域づくりを短期・中期・長期の3つの視点から検討した資料です。生活圏の拠点づくりとして検討を始める前に作成しましたので、現在と状況が変わっているところもありますが、参考としていただければと思います。
事務局	4 報告・協議事項 (1) 前回協議の確認について ➤ 事務局より第7回議事録の説明
委員長	・ 前回の議事録について何か意見があればお願いします。 ー意見なしー
事務局	(2) 論点整理と検討方針(案)について ➤ 千種生活圏の拠点づくりの考え方(中間とりまとめ案)について、前回の委員会での意見を整理し、その検討方針について説明
事務局	(3) 「千種生活圏の拠点づくりの考え方」策定スケジュールについて ➤ 拠点エリアの機能や役割、商店街やいろいろな施設の活用など具体的な計画の議論を行い、6月中に計画をまとめ政策決定を行うことを説明
委員	・ 計画が固まりつつありますが、委員会の中だけの意見になっていますので、今後、市民全体にどのように周知されていくのでしょうか。市の広報

上長次長	<p>も見ているつもりですが、一宮町の拠点づくりは情報がなかったように思います。千種町の拠点づくりも千種町だけの問題ではなく、市全体に周知していく必要があるのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先日、一宮市民局が所在する一宮町曲里自治会へ、生活圏の拠点づくりについて説明にいきましたが、地元自治会の中にも計画を知っておられない方がおられ、広報の必要性を感じました。ただ、千種町には千種町地域の特色がありますので、計画の内容は委員の皆様で考えていただき、千種町の取組を市全体に知っていただくような形で情報を発信するのが大事かと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この委員会の活動を市全体に周知はされないということでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度とりまとめた段階で広報やホームページ等を通じて情報発信をさせていただきますが、周知がどこまで行き届くかについては課題もありますので、一緒に考えていただければと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千種町のことは千種町に住む人がどうするのかを考えていく必要があります。本委員会については、議員からも一般質問がでておりますが、関心のある人は知っていますが、全体にはあまり知られていません。委員は責任のある検討をしています。委員会では中間とりまとめ案の内容を議論していくことしかできないのではないかと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の強みを市内外に発信することも大事だと思いますので、地道に進めていきたいと考えています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園小中高連携は千種にしかない取組ですが、教育や子育ての環境をよくするには費用も必要になります。親の負担を減らす取組は相生市がいい例ですが、宍粟市で同様の費用を負担できるかという点と難しいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千種町全体の問題として町内での周知がまだ行き届いていないと思います。本委員会の取組を市広報とあわせて便りを出されていますが、反応までは確認されていないと思いますので。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心を持っていただかなければ情報が伝わりませんので、皆で関わりをもてる仕組みはまだ手探りです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字だけでは伝わりにくいところもありますので、しそチャンネルの活用

委員	<p>なども検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の広報は、一緒に入っている書類の量が多いので、委員会便りが気付かない場合もあります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞折込したとしても同様に見ていただけないことが多いと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方に興味をもっていただける方法などご提案ありますでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先日の神戸新聞に一宮町の拠点づくりについて記事が掲載されていましたが、ある程度、形になっているものがないとマスコミ取材もないかと思いますし、市民の方もよくわからないと思います。ある程度方向性や形ができて見せられるようにしないと反応がありませんので、具体的なものができてくれば、新聞記者に委員会に来てもらって記事にさせていただくなど、マスコミなどにも取り上げてもらえるように考えてはどうでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が整備されてから使用方法を考えるのではなく、市民局を新たに整備するにしても、地域を寂れさせない方法などあらかじめ考えて進めていく必要があります。前回の委員会では、エーガイヤちくさには拠点になるほどのスペースがないと意見しましたが、実際に現地を見てみると、もったいない使い方をしている部分もあり、拠点として活用してもいいのではないかと感じました。 拠点が複数になっても、自動車の自動運転が発達し、交通や移動については技術で解決することができると思います。 また、周知については、施設が整備されなければ興味が沸かないので仕方ないのではないのでしょうか。この委員会でリードしていく必要があると思います。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間とりまとめ案のままでいいとは思いませんが、複数の案を委員会で議論して、町民に問いかけてはどうでしょうか。自治会で各戸に聞いてもらうなどすれば意見を汲み取れると思いますし、委員会の中だけで勝手に決めてしまうということにならないためにもアンケートをとってはどうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートをとれば、良いか悪いか、どちらつかずの意見に分かれて、千種町にとって何がいいのか曖昧になると思います。この委員会での最終的な判断は市長がその責任で判断されますが、千種町の地域にあう計画を検討していくのがこの委員会です。本日、エーガイヤちくさを見ていただいて、拠点施設として活かせる部分を感じていただいたと思います。このように中間とりまとめ案で提示されている案について議論を深めながら、皆さんで知恵をだしていく

	<p>ことになります。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローソンには若い人がよく集まっており、24時間営業の機能が市民局にあればいいと思います。安心するから集まるのではないかと思いますので、市民局は安心・安全の機能をもつ必要があると思います。消防や警察は交代制で24時間仕事をされていますし、千種診療所も医師2人体制を想定した施設と聞いていますが、宍粟市に医者が増えれば市外からも人が来るようになります。複数の医師で千種診療所が24時間対応できるようになれば、拠点としての機能も高まると思います。また、どのような機能を求めるかによって、拠点となる施設も変わってくると思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと多くの方に拠点づくりの計画を知っていただき、幅広く意見を聞いていくことが大事だと思います。
上長次長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画をもとに拠点のイメージを作り上げて、あらためて地域の方にも意見を聞いていくということを考えています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備した施設をどう使っていくのかは大事なことだと思います。この生活圏の拠点づくりは新しい地域づくりの出発点だと考えています。施設を整備した後も地域づくりの取組みは続きますので、地域の方に関心をもっていただくことや、情報を伝えていくことは大事なことだと思います。情報発信や関心をもっていただける仕組みづくりも進めていかなければいけないと考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千種小学校5・6年生が先日開催された「しそうの森合唱祭」に出場しましたが、千種小学校の合唱がとても素晴らしいと好評でした。千種町では、音楽にも力を入れておられ、子どもたちは楽しそうに歌っていて、遠方から聞きにこられた方も素晴らしかったと、また、千種町は自然が綺麗だから声も心も綺麗になるのだろうかと言われていました。そんな小学校に通わせたいと親も考えないかなと思います。幼少中高連携や合同で文化祭をしているのは千種町だけです。しそうの森合唱祭に出場するには学校をあげての練習が必要になりますので、他の小学校はなかなか出場できません。千種小学校は下の学年の子も来年出場したいと言っています。来年も出場すると思いますので、千種町の魅力としてアピールできる要素ではないかと思っています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千種町には優れたところがあります。千種高校にも良いところがありますが、知られていない部分もあります。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 千種高校では2年前から取組んでいる情報モラルの活動で、今回、文部科学大臣賞を受賞し、昨年は総務省からも表彰されました。その活動から発展し、ネットでのいじめやネットの危険性について高校生が分かりやすく情報発信していく中で、アメリカの高校生とネットに関する意見交換が始まり、このたび、アメリカから5名の学生が鷹巣を訪れることになっています。このような外国からも人を呼べるような取組をまだ知られていません。 また、給食も食育として実施されるようになり、給食メニューが苦手な子もいますが、8割の生徒が給食をいい取組だと言っています。地元食材を使えば、作っている方のこともわかるようになります。給食が始まる前は、コンビニでお菓子を買って昼食をすませていた学生もいたので、心の発育にもいい。栄養面に関しても保護者も喜んで預けていただいていると感じています。 もうひとつ特徴的な取組として、小規模高校として県下で2校、文部科学省の主導で遠隔授業を始めることになりました。生徒の減少で配置される先生の数が減り、カリキュラムにも影響がでるということで、モニター越しに双方向で授業を受けられるようになります。学力の低下なども心配される中、最先端の授業を平成30年度から受けられるようになります。
幸福市民局長	<ul style="list-style-type: none"> 波賀中学校の子どもも、以前は伊和高校に行くのが当たり前になっていましたが、最近では千種高校に進学する子どもが増えています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境も変わってきたと思います。アメリカから5人来ていただけということでしたが、千種高校からも5人の生徒がアメリカへ行くことになっています。小さなことですが、千種町には良いところもありますので、計画にも反映していければと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> アメリカへの旅費も大使館が負担してくれることになっています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 中間とりまとめ案の5ページにある「現市民局とエーガイヤの役割分担」について、3つのパターンがあり、3つ目のパターンが議論しやすいと思いますが、行政窓口をどこにするかはかなりの議論が必要になると思います。これまでは市民局の中に行政窓口がありましたが、どの拠点に行政窓口を設置するのは最初に判断が必要なのではないかと思います。 また、診療所は現在医師1人ですが、毎週火曜日にツカザキ病院から眼科の医師が来るときは利用者が多くなります。専門医が来るときを市民の方もよく知っておられ、初診はツカザキ病院で、2回目以降の診察は診療所という方も多いので、常時ではなくても必要なことを整えていくことが大事だと思います。先ほどしそあの森合唱祭の話がありましたが、鳥取県日野町というところ

<p>委員長</p>	<p>では立派な文化ホールがあり、毎年、高齢者から子どもまで全員が集まって町民ミュージカルが催されています。外部からも音楽家を招くなど上手に活用されており、千種町の拠点施設でも、観光機能をエーガイヤちくさに追加することや、拠点施設に若者が集まる場がなぜ必要なのかなど、具体的な根拠を考えていく必要があります。また、目玉を何にするのか、見せ方も大事になります。</p> <p>まずは、行政窓口をこれからどう考えていくのか市民にとっても一番大事な議論になりますので、委員会でもしっかりとした議論が必要だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の事業を活用して千種まちづくり推進委員会を設立し、空き家などを活用した拠点を作ることが補助要件ということで、自治会長全員の承諾を得て今の位置に拠点を整備してこれまで事業を行ってきました。実際に拠点を整備した後、できることからやろうということで進めてきましたが、町を何とかしようという思いがあっても、お互いの活動には無関心なところがあり、実施した事業には意見がでますが、こんな事業をしようという意見は中々でてきません。 <p>エーガイヤちくさも何のために整備するのかを議論するため、整備を1年延ばしましたが、見ていただいたとおりに使えていないスペースもあります。拠点施設の整備は、どんなことに使っていくのかをよく考え、費用を少なくスペースを有効活用し、市民局とエーガイヤのバランスをとりながら、皆が喜ぶことを考えていく必要があります。</p> <p>本委員会でもいろいろと考えていただいています、さらに深く考えていただいて議論を進めていかないといけないと思います。資料の「どがいじゃろえ地域プラン」も参考にさせていただきながら、次回は具体的に形になるものを作っていかなければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の意見を整理して計画に落とし込んでいきます。委員からもありましたが、目玉を何にするのか、核になるコンセプトが大事になると思いますので、それを委員会で見つけていければと考えています。委員の皆様のいろんな発言の中から生まれてくるかもしれませんので、どのようなことでもご発言いただければと思います。
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終的な案を詰めていく必要がありますが、もう少し計画を具体的に詰めることは可能ですか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案として方針を整理していますが、千種高校や教育・子育てが中心になるのではないかというイメージを持っています。コンセプトが決まってくると、それに付随してどのように整備するか浮き彫りになってくると思います。

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ エーガイヤちくさの空きスペースをいかに有効活用していくか、現在の市民局のところをどのような拠点を整備できるかももう少し詰めていかないと議論が難しいと思います。
上長次長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろと意見がでていきますので、3つ目のパターンから教育をコンセプトとして、事務局で案を作って議論いただくということでどうでしょうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数のパターンを一つにまとめた上で、素案を詰めていただき、ワークショップ形式で意見を書きだし、皆で考えていく方法がとれないでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方法や様式など考えてみます。
清水副局長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現市民局の位置に郵便局機能が入る可能性は考えられますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便局機能に限らず、集いの場として考えれば、拠点施設に人が用事をする部分があれば建物を整備しただけになります。中間とりまとめ案の3つ目のパターンが現実的な気はしますが、市民局がなくなることで商店街の周辺が寂しくなる気もしますので、行政窓口がどこに位置するかは大きな問題だと思います。実現するかは別にして、人が集う場所として、行政窓口や商店、金融機関があるというのも集客の方法だと思います。また、例えば商店街の商店が協同で場所を借りて新たな施設に入ることになれば、そこへ若者が集まって買い物をしたり、高齢者が用事をすませたついでに買い物できるなど、必要なことが完結して利便性が高くなります。そこでテナント料を収入として得ることができれば、それも一つの方法かと思います。見せていただいたショートステイ機能も、この施設の建設時から人口など状況も変わっていますが、施設をもっと開放すればいろいろと考えられるのではないかと思います。学校の寮にという話もありますし、一般利用もしていただき、温泉とセットで宿泊してもらえたり、レストランで食事していただいたりと活用できます。 <p>話は変わりますが、環境がよく似た地域同士で連携しようと、智頭急行線で何か取組ができないかということで、鳥取県と岡山県の郵便局が集まる機会がありました。岡山県の方から、宮本武蔵の里周辺は、大河ドラマで取り上げられたときは観光客が一気に増加したが、今は大きく減ってしまったという話がありました。最初に大きく打ち出すことも大事だと思いますが、少しずつでもいいので、後々のことを考えて、継続していけることが大事だと思います。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵の里は、大河ドラマの影響でいつとき非常に観光客も多かったようですが、そのときだけで継続性がなければ困ります。エーガイヤちくさのショート

委員	<p>ステイも高齢化の時代を見越して整備されていますが、過去に利用があったのは2人だけです。ふれあいサロンで飲食した後に宿泊できるようにすれば利用価値も高まり、忘年会などでの利用もあると思います。これから拠点づくりを進めていく上で、利用価値を考えながら進めていく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エーガイヤちくさのショートステイ機能は目的が決まっているために、他の用途には使えないのでしょうか。冬場はスキー客で賑わっていますが、スキー客はなんでもスマートフォンで調べます。写真で情報をネット上にアップしておくだけでも宿泊利用があるのではないかと思います。愛知県江南市にも研修センターで宿泊客を受け入れしているところがあり、料金が安いこともありますが、一年先まで予約でいっぱいになっています。ネット上に情報を流すだけで若者から予約も入るのではないのでしょうか。宿泊客が増えればリピーターが増加して、千種町のことも広まっていくと思いますが、そのために他の目的に使用できるようにならないかと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ エーガイヤちくさは補助金の制約がないため、使い方はある程度自由にできるのではないかと思います。ちくさふれあいサロンで飲食した後に宿泊できるようにするのもいいのではないかと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団や自治会でも波賀町の施設を利用しています。送迎があるということもありますが、宿泊が可能ですので利用率が高くなります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千種町でパワースポットなど縁のある場所はないのでしょうか。鳥取県日野町では、金持（かもち）神社という神社があり、受験シーズンなどには多くの参拝があり、関連グッズも良く売れています。拠点に観光的な要素を入れていく場合に、うまく繋げて情報発信できればと思います。地域活性化がうまくいっているところは、分かりやすく目印になるものがあります。千種町でも地域が徹底して取組んでいるのが分かれば興味をもっていただきやすいと思います。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 次回予定 4月11日（水）午後7時からエーガイヤちくさで開催 <p>6 閉会</p>
副委員長	<p>委員会の開催場所が変わり気持ちを新たに意見交換ができました。次回に向けて各委員の皆様には、拠点づくりの計画について考えておいていただきたいと思います。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">（了）</p>